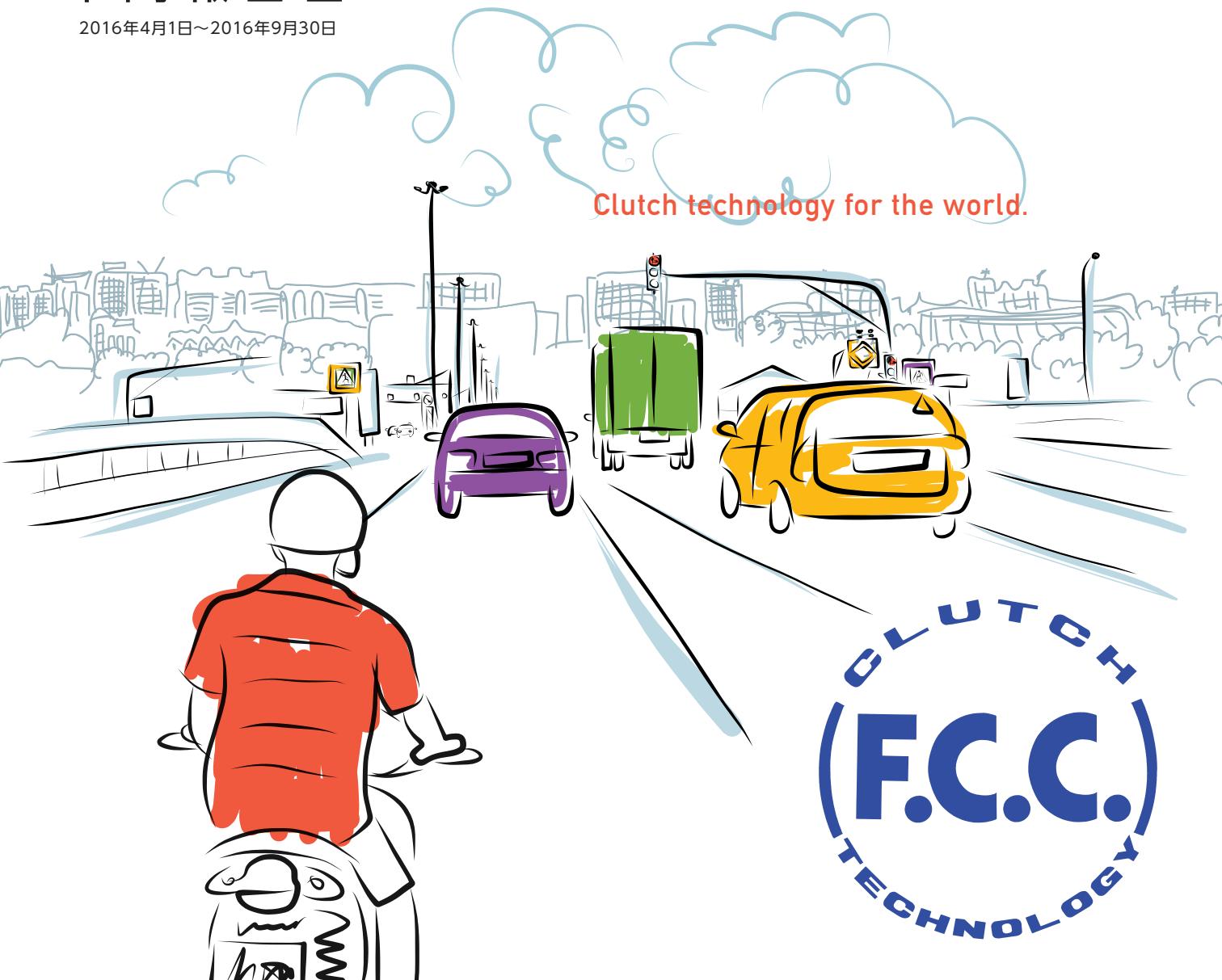


# 2016

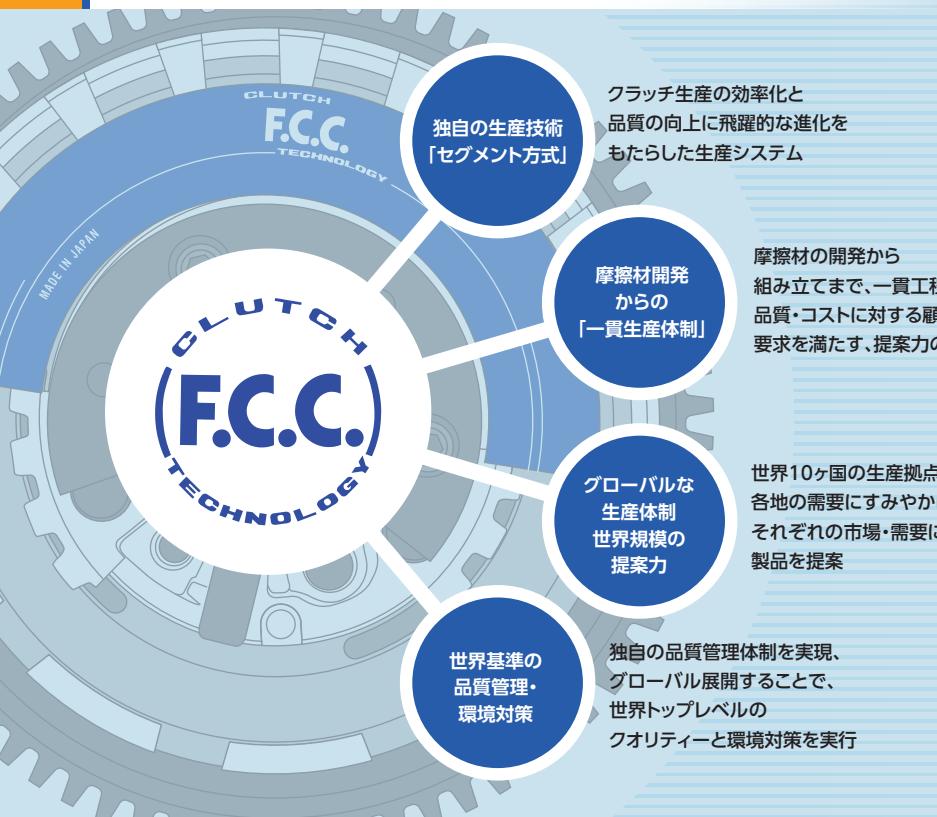
## 中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日

Clutch technology for the world.



# クラッチ市場で明日へつなぐ、世界のリーディングカンパニー



独自の生産技術  
「セグメント方式」

クラッチ生産の効率化と  
品質の向上に飛躍的な進化を  
もたらした生産システム

摩擦材開発  
からの  
「一貫生産体制」

摩擦材の開発から  
組み立てまで、一貫工程。  
品質・コストに対する顧客の  
要求を満たす、提案力の源

グローバルな  
生産体制  
世界規模の  
提案力

世界10ヶ国の生産拠点ネットワークで、  
各地の需要にすみやかに対応、  
それぞれの市場・需要にあわせた  
製品を提案

世界基準の  
品質管理・  
環境対策

独自の品質管理体制を実現、  
グローバル展開することで、  
世界トップレベルの  
クオリティーと環境対策を実行

二輪用クラッチ  
世界シェア  
**No.1**

海外生産拠点  
**10ヶ国**

海外売上収益比率  
**89.0%**

## ごあいさつ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。2016年度第2四半期の事業内容を報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の業績は、米国において四輪用クラッチの販売台数は増加しましたが、主にタイやインドネシアにおいて二輪用クラッチの販売が減少したことに加え、円高の影響もあり、売上収益は75,119百万円(前年同期比10.6%減)となりました。営業利益は、円高の影響があったものの、内作費削減等の効果に加え、前第1四半期に計上した生産管理システムの開発中止に伴う減損損失の影響が無くなったこともあり5,907百万円(前年同期比10.2%増)となりました。税引前四半期利益は、為替差損の影響により3,229百万円(前年同期比35.7%減)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,058百万円(前年同期比48.1%減)となりました。

中間配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し1株当たり20円とさせていただきます。

今後の経営環境は、世界経済の先行きに不確実な要素もありますが、次年度から始まる中期経営計画でのさらなる進化の達成に向けて、第9次中期経営計画の総仕上げに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年11月



代表取締役社長

松田年真



## 事業紹介

F.C.C. At a Glance

### 二輪車用クラッチ

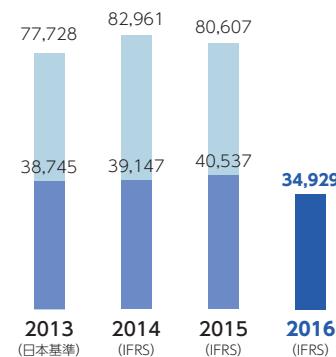
売上収益 (売上高)

34,929 百万円

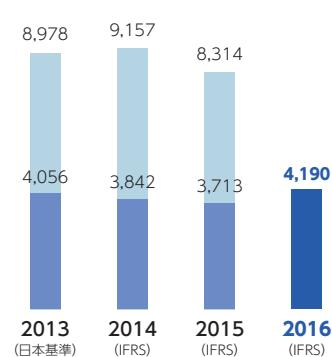
営業利益

4,190 百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



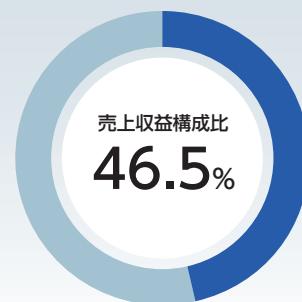
主にタイやインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が減少したことにより、売上収益は34,929百万円(前年同期比13.8%減)となりました。営業利益は、主にインドネシアの内作費削減等の効果や前期に計上した減損損失の影響が無くなったこともあり、4,190百万円(前年同期比12.9%増)となりました。



#### 製品情報

オートバイに使用される多板クラッチとスクーターに使用される遠心クラッチ等があります。ビジネス・レジャー・スポーツ・レース等の使用目的にあわせ、50ccから2000ccを超える排気量に対応する豊富な種類をご用意しています。その他に、ATV用クラッチや汎用機用クラッチ等があります。

※ATV: All Terrain Vehicle(バギー)



### 四輪車用クラッチ

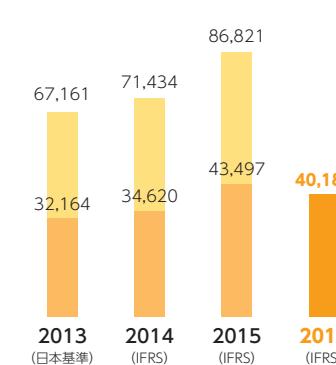
売上収益 (売上高)

40,189 百万円

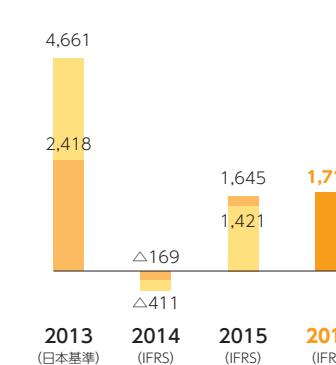
営業利益

1,716 百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)

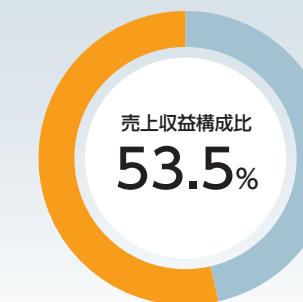


米国において四輪車用クラッチの販売台数は増加しましたが、円高の影響もあり、売上収益は40,189百万円(前年同期比7.6%減)となりました。営業利益は、円高の影響があったものの、内作費削減等の効果や前期に計上した減損損失の影響が無くなったこともあり、1,716百万円(前年同期比4.3%増)となりました。



#### 製品情報

オートマチックトランスミッション(AT)用クラッチ、マニュアルトランスミッション(MT)用クラッチ、トルクコンバーター用ロックアップクラッチ、CVT用クラッチ、4WD用デフクラッチ等があります。



## TOPICS

### 水素社会を見据えて ~次世代事業開発室を新設~

当社は、ペーパーベースの摩擦材製造で培った抄紙技術を応用した、小型汎用機用排ガス浄化触媒を量産しております。

今般、それら技術をもとに燃料電池システムの開発および抄紙技術の進化としての薄紙、薄膜技術の開発を行うことを目的に、次世代事業開発室を新設いたしました。燃料電池コージェネレーション、発電機、燃料電池自動車(FCV)用製品等の自動車および自動車関連以外の事業領域における新製品の創出を目指してまいります。

抄紙技術を応用した当社製品  
「排ガス浄化触媒」



#### 新製品の創出へ

(自動車および自動車関連以外の事業領域)

進化



拡販の  
進展

### トヨタ自動車から新規受注獲得 フォード向け受注拡大

トヨタ自動車株式会社からFF8速オートマチック車用クラッチアッセンブリーを新規に受注し、本年5月より本格量産を開始いたしました。本件は、当社として初のトヨタ自動車株式会社向けの受注であります。

また、当社の米国における子会社、FCC(Adams), LLC.がフォードモーターカンパニーからFR10速オートマチック車用クラッチアッセンブリーを受注いたしました。

今後も両社との関係を強化し、さらなる取引拡大に努めてまいります。

トヨタ自動車

FF8速AT用  
クラッチアッセンブリー

フォードモーターカンパニー

FR10速AT用  
クラッチアッセンブリー

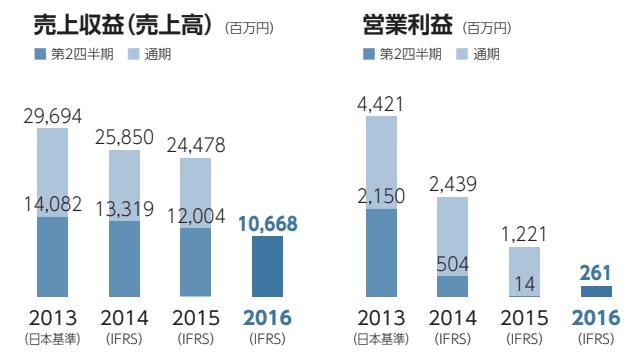
# 世界に羽ばたく F.C.C.のネットワーク

1988年、ジェイテックインコーポレイテッド\*(米国インディアナ州)の設立を皮切りに、いまF.C.C.は海外10ヶ国、14生産拠点のラインナップで全世界のニーズに対応しながら、ハイクオリティ、ローコストな製品づくりを目指しています。  
これによってそれぞれの市場に対応するだけでなく、生産技術の高いレベルに保った相互補完システムをも構築し、より強固な供給体制を確立しました。

\* 現 FCC(INDIANA), LLC.

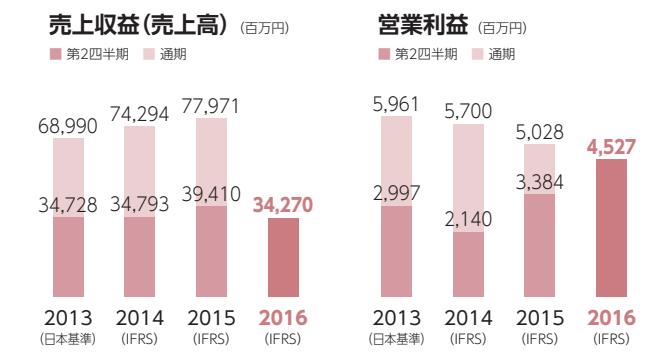


## 日本 Japan



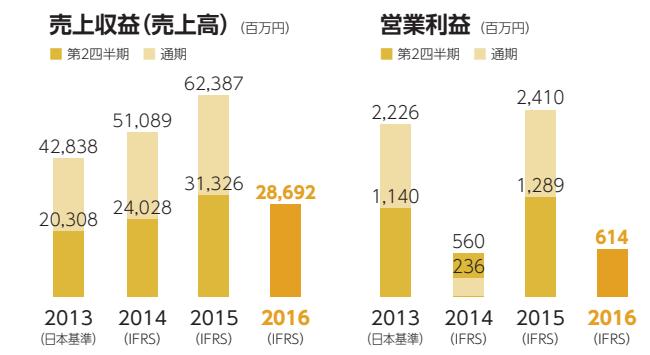
主に四輪車用クラッチの販売の減少により、売上収益は10,668百万円(前年同期比11.1%減)となりました。営業利益は、減収に伴う利益の減少や円高の影響があったものの、前期に計上した減損損失の影響が無くなったこともあり261百万円(前年同期は14百万円の営業利益)となりました。

## アジア Asia



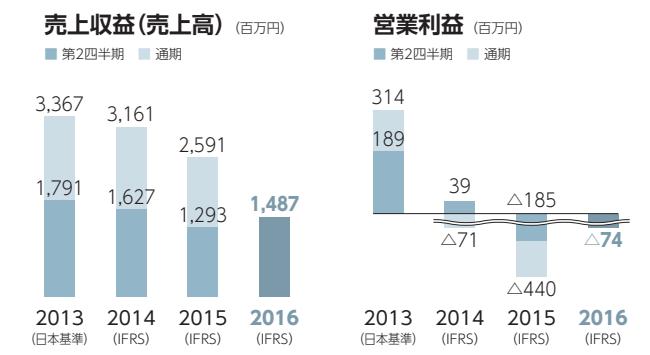
主にタイヤインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が減少したことにより、売上収益は34,270百万円(前年同期比13.0%減)となりました。営業利益は、主にインドネシアにおける内作費削減等の効果により4,527百万円(前年同期比33.8%増)となりました。

## 米国 America



四輪車用クラッチの販売台数は増加しましたが、円高の影響もあり、売上収益は28,692百万円(前年同期比8.4%減)となりました。営業利益は、内作費削減等の効果があったものの、円高の影響や立上げ費用の増加により614百万円(前年同期比52.4%減)となりました。

## その他 Others



ブラジルの二輪車用クラッチの販売が減少したものの、メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したことにより、売上収益は1,487百万円(前年同期比15.0%増)となりました。営業利益は、ブラジルの減収影響があったものの、メキシコの立上げ費用が減少したことにより74百万円の営業損失(前年同期は185百万円の営業損失)となりました。

# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 要約四半期連結財政状態計算書

科目	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)
<b>資産</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び現金同等物	23,450	22,017
営業債権及びその他の債権	25,398	23,383
その他の金融資産	905	1,183
棚卸資産	18,007	16,123
その他の流動資産	3,873	2,672
流動資産合計	71,635	65,381
<b>非流動資産</b>		
有形固定資産	72,066	68,808
のれん及び無形資産	2,716	3,018
持分法で会計処理されている投資	542	127
その他の金融資産	8,632	8,263
繰延税金資産	3,126	3,295
その他の非流動資産	492	525
非流動資産合計	87,576	84,039
<b>資産合計</b>	<b>159,212</b>	<b>149,421</b>

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)
<b>負債</b>		
<b>流動負債</b>		
営業債務及びその他の債務	13,981	11,845
借入金	9,887	9,911
その他の金融負債	-	82
未払法人所得税	1,517	1,884
その他の流動負債	4,883	5,388
流動負債合計	30,269	29,114
<b>非流動負債</b>		
借入金	8,426	5,938
その他の金融負債	29	600
退職給付に係る負債	1,903	2,002
引当金	36	36
繰延税金負債	5,688	5,725
その他の非流動負債	262	316
非流動負債合計	16,346	14,620
<b>負債合計</b>	<b>46,616</b>	<b>43,734</b>
<b>資本</b>		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	99,720	100,780
自己株式	△3,408	△3,409
その他の資本の構成要素	6,523	△795
親会社の所有者に帰属する持分合計	107,010	100,751
非支配持分	5,585	4,935
<b>資本合計</b>	<b>112,596</b>	<b>105,686</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>159,212</b>	<b>149,421</b>

## 要約四半期連結損益計算書

科目	前第2四半期 連結累計期間 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日
売上収益	84,034	75,119
売上原価	△70,473	△63,006
売上総利益	13,560	12,112
販売費及び一般管理費	△6,855	△6,473
その他の収益	283	369
その他の費用	△1,630	△102
営業利益	5,358	5,907
金融収益	522	381
金融費用	△855	△3,056
持分法による投資損益	△2	△2
税引前四半期利益	5,022	3,229
法人所得税費用	△688	△854
四半期利益	4,333	2,374
四半期利益の帰属 親会社の所有者 非支配持分	3,963 370	2,058 315
四半期利益	4,333	2,374
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	78.96	41.02
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	-	-

(単位:百万円)

## 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前第2四半期 連結累計期間 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,748	12,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,839	△8,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,050	△2,947
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,960	768
現金及び現金同等物の期首残高	17,557	23,450
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1,146	△2,201
現金及び現金同等物の 四半期末残高	19,371	22,017

## 2016年度(2017年3月期)の連結業績予想

売上収益	1,500億円(前期比 △10.4%)
営業利益	100億円(前期比 2.7%)
税引前利益	80億円(前期比 △1.5%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	55億円(前期比 △10.8%)
基本的1株当たり 当期利益	109.59円

## ホームページのご案内

<http://www.fcc-net.co.jp/>



TOPページ

IR情報

## 株式の状況

Stock Information

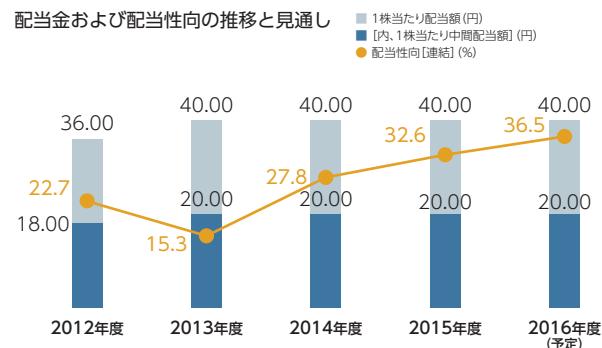
株式の状況	2016年9月30日現在
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	52,644,030株
株主数	16,194名
単元株式数	100株
証券コード	7296

## 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
1 本田技研工業株式会社	10,881	21.6
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,006	5.9
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,508	4.9
4 株式会社ワイ・イー	2,019	4.0
5 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,849	3.6
6 山本佳英	1,545	3.0
7 みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,315	2.6
8 山本恵以	1,300	2.5
9 NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE MONDRIAN INTERNATIONAL SMALL CAP EQUITY FUND, L.P.	913	1.8
10 エフ・シー・シー取引先持株会	855	1.7

(注) 1. 当社は自己株式を2,455,809株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

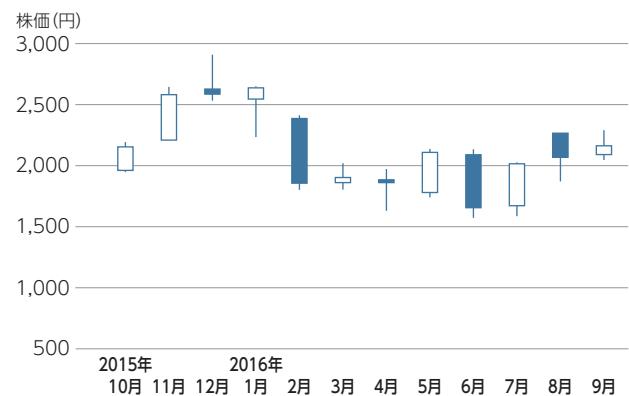
## 配当政策および配当金



## 所有者別状況



## 株価の推移



### [配当政策]

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、将来の成長のために必要な設備投資や研究開発を行い、会社の競争力を維持、強化することで企業価値の向上に努めるとともに、連結業績や配当性向等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

### [配当金]

本年10月31日開催の取締役会の決議により、当期の中間配当金を1株当たり20円とさせていただきますことになりました。

## 会社概要

Corporate Data

## 会社概要

商号	株式会社エフ・シー・シー (英文:F.C.C. CO.,LTD.)
本社	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 TEL:053-523-2400(代)
資本金	41億75百万円
代表者	代表取締役社長 松田年真
設立	1939年(昭和14年)6月
従業員数	8,005名(連結) 2016年9月30日現在
事業内容	二輪車および四輪車のクラッチならびに その他の部品の製造販売

## 役員

	2016年9月30日現在
代表取締役社長	松田年真
常務取締役	斎藤善敬
常務取締役	糸永和広
取締役	鈴木一人
取締役	松本隆次郎
取締役	向山敦浩
取締役	中谷賢史
取締役	井上憲一
取締役(常勤監査等委員)	鈴木宏典
取締役(常勤監査等委員)	深津克好
社外取締役(監査等委員)	辻慶典
社外取締役(監査等委員)	佐藤雅秀
社外取締役(監査等委員)	杉山一統

## 主な子会社

【国内生産会社】			
株式会社エフ・シー・シー	天龍産業(株)		
【海外生産会社】			
FCC(INDIANA), LLC.	【米国】	FCC(North Carolina), LLC.	【米国】
FCC(Adams), LLC.	【米国】	FCC(THAILAND) CO., LTD.	【タイ】
FCC(PHILIPPINES) CORP.	【フィリピン】	成都永華富士離合器有限公司	【中国】
上海中瑞・富士離合器有限公司	【中国】	FCC CLUTCH INDIA PRIVATE LTD.	【インド】
PT. FCC INDONESIA	【インドネシア】	台湾富士離合器股份有限公司	【台湾】
FCC DO BRASIL LTDA.	【ブラジル】	佛山富士離合器有限公司	【中国】
FCC(VIETNAM) CO., LTD.	【ベトナム】	FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V.	【メキシコ】
【持株会社・統括会社】			
FCC(North America), INC.	【米国】	愛富士士(中国)投資有限公司	【中国】

## 事業所所在地

本社	〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
技術研究所	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の46
生産技術センター	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の78
細江工場	〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
浜北工場	〒434-0046 静岡県浜松市浜北区染地台6丁目1番1号
天竜工場	〒438-0202 静岡県磐田市高木1550番地1
鈴鹿工場	〒510-0261 三重県鈴鹿市御園町字桜台5421番地
東京オフィス	〒351-0021 埼玉県朝霞市西弁財1丁目1-5 金子ビル1F
大阪オフィス	〒563-0046 大阪府池田市姫室町1番1号 池田YMビル402

## テレビCMのご案内



【放送時間帯】  
静岡朝日テレビ  
毎週水曜日  
「報道ステーション」  
22:30~23:00の間  
毎週金曜日  
「スポーツパラダイス」  
23:10~23:45の間

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により行います
定時株主総会	6月	ホームページアドレス	<a href="http://www.fcc-net.co.jp/">http://www.fcc-net.co.jp/</a>
剰余金の配当基準日	3月31日	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号
	中間配当を実施する場合 9月30日	特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
単元株式数	100株		

お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行(※) フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※) 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

### 【配当金計算書について】

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

## 株主優待制度について

### 株主優待制度の内容

#### (1) 対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された200株以上ご所有の株主の皆様を対象といたします。

#### (2) 贈呈品

	贈呈品	送付時期
3月31日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	5月中旬
9月30日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	12月中旬から下旬

※所有株式数にかかわらず、200株以上ご所有の株主様一律の内容です。



## 株式会社 エフ・シー・シー

本社 〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36  
TEL (053) 523-2400 (代) FAX (053) 523-2405  
<http://www.fcc-net.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。